執行方針

【要約版】



教育長　中山　秀悦

超スマート社会・Society5.0、人生100年時代、人工知能AIの進化、IOT普及の波の中で、先を見据えた子どもからシニア世代までがお互いを必要とし合う、いるだけでほっとできる優しさと温かさのある学校・園・町づくりを。

■変化していく社会を生きる力の育成

【確かな学力を育む教育の推進】

学校は授業が命。授業を核とした指導の改善を進めます。一人1台端末を活用する授業は、筆記具とノートとのハイブリッドで新たな活動場面が期待できます。支える「書く活動」の充実が重要です。

子どもが1単位時間、学びの意欲を継続する主体的・対話的で深い学びを目指した授業の活性化、生徒指導の機能が生かされている温かな授業を目指します。

授業に向かう姿勢・規律性、お互いを尊重した言葉遣い等の言語環境。家庭と連携した学習習慣の定着に向けた取組を推進してまいります。

【豊かな心を育む教育の推進】

子どもたちが毎朝、友だちのいる学校に行くことが楽しみで目覚める日々を迎えられるよう、日々の児童生徒観察、日常の挨拶や礼儀正しさを重視し、「人の痛みの分かる教育」を実践してまいります。いじめゼロ、SNSノートラブルを合い言葉に生徒指導の充実を図ります。

【健やかな体を育む教育の推進】

学習や人間関係の構築に向かう意欲の源は体力です。全校で統一、体系化された展開の体育授業推進に努めます。

「ふるさとの恵みとほほえみに感謝する日」等、今金町産食材の良さに触れる食育、食農教育など学校給食の充実と食育の推進に努めます。老朽化した給食センター改築に向けた準備も進めてまいります。

新型コロナ感染症等の予防を重視し、健康教育アドバイザーを核に家庭とつなぐ健康教育の推進に努めます。

【多様なニーズに対応した取組の充実】

保健福祉課との連携や、特別支援教育スーパーバイザーによる適切な情報に基づいた子ども・保護者支援の充実を図ってまいります。町保健師や今金町地域自立支援協議会と連携し不登校ゼロを合い言葉に、子どもの将来を見据えた不登校・登校しぶりへの対応を進めてまいります。

【幼児教育・子育て支援の充実】

令和4年度からの認定こども園いまかねによる発達支援センター、学童保育所の運営一元化への移行を目指し、その指導体制を安定化させるとともに、子どもたちや保護者が安心して利用できる放課後の子どもの居場所づくりを進めてまいります。

■地域の良さを活かし地域と共にある学校づくり

【家庭・地域との連携・協働の推進】

せたな警察署等と連携した「ながら見守り」等の登下校の見守り活動を継続依頼するとともに、子どもたちの安全・安心を図るため一年間を通じて生活・教育環境を把握できる連携体制を維持してまいります。

ゲストティーチャーを活用した生きた教材の授業、学校経営の意思決定や人的資源の支えとしてのコミュニティ・スクールの推進を図ってまいります。

【学校間の連携・継続性】

合同授業やオンラインでの授業の試みなど、規模の異なる2小学校間の教育課程連携や小中での授業連携、協働の工夫を進めてまいります。

【学校における指導体制の充実】

楽しくワクワクするような授業を提供するためには教職員自身が元気でなければなりません。教育を司るという崇高な意識とともに、自らの健康・活力を維持していく時間意識の見直し等、意識改革が求められます。校務支援システムの有効活用、会議の効率化、校務分掌組織の精査。小中学校3校に機械警備を導入します。

【今金中学校改築事業】

令和5年度の開校を目指す今金中学校改築事業は建設工事に着工。本年度は30％の事業を計画しております。

■今金への愛着を自己の成長と町の発展につなげる教育の推進

【協働性を重視した社会教育の推進】

学社融合ファイルの活用、ICT版の作成を通して、学校教育と社会教育の連携の円滑化に努めます。土曜日の教育活動推進プランモデル「わくわくカ

令和3年度 教育行政

レッジ“イマカレ”」を開催し、体験プログラムを通して人材育成と教育機能を調和させた学校教育と社会教育の連携・融合を図ってまいります。

読書（dokusho）と作文（sakubun）のまちプロジェクトの推進。秋の読書週間に予定する「読書と作文のまちイベント」を発表の場と押さえ、初夏から図書活動の先進地域や活動団体、作家・指導者等の専門家と連携を図る中で、活動の成果発信の場として町内の児童・生徒、町民から作品を募った『今金エッセイ（作文）コンテスト』を実施し、映像や音楽と融合した創作活動等で、地域の関係団体の活動や家庭教育を支える取組を推進してまいります。

【図書関係ボランティア等と連携・協働した広がりのある図書活動】

子どもからシニア層まで幅広い年齢層への読書活動の普及・支援を行ってまいります。

コロナ禍の中でも家庭で読書を楽しめる事業や本のある空間の下で人々が集える町民センター図書室の環境づくりに努め、子ども・町民と本を結びつけます。

地域に出向いての図書貸し出しサービスやまちかど文庫の設置、蔵書管理システムの充実で町民と本・情報を結びつけるよう努めてまいります。

【豊かな国際感覚を育む教育活動】

31年目を迎えるニュージーランド・バーンサイド高校との交流は、派遣の年となります。国際交流アドバイザーによる英会話料理教室の実施など、幼児から大人・シニア層まで町民が外国語に楽しく親しみやすい機会を提供するなど国際理解教育・外国語教育の充実を図ってまいります。

【共に進める家庭教育】

少子化、労働体系の変化で子育ての環境も変わってきております。しつけ等の家庭教育を含め、保護者が楽しい雰囲気で子育てを語れる・学べる「親学講座」や親子向け事業を推進してまいります。

【人づくりの推進】

住民同士が楽しく交流できる機会や場をつくると共に、地域活動のリーダーを養成するため、幅広い世代を対象とした「今金ふるさと塾」及び「動く公民館事業」を通年開催。地域に出向く「社会教育団体地域育成事業」を通して関係各課と連携し、活動支援と活性化を図ります。

■豊かな心を育む文化・芸術の振興

【文化・芸術活動の推進】

文化・芸術を通して生涯を通じた芸術文化活動の推進、今金ミュージックサマースクール・幼少年芸術劇場の実施に努めてまいります。

【文化財保護の振興】

貴重な文化財を適切に保存・活用するため、町内に存する文化財の網羅的な基本調査と研究、また、今後の保存活用方策を検討・具現化する「今金町文化財保存活用地域計画」策定のため、各分野の専門家や地域団体からなる委員会を組織し、本計画策定を進めます。幅広い年代層に認知されるような研修等の機会を設けるとともに、学校をはじめ観光施設や他市町村の文化財施設との連携を図り、人々が集う文化財の町への第一歩とします。

■健やかな心身を育む生涯スポーツの振興

【スポーツ活動の推進】

今金町スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブいまかねと連携したスポーツ機会の提供（スポーツ教室）に努めます。外部人材を活用した研修会など、学びの機会の提供や少年団活動の支援を通じた活動をしてまいります。

【生涯スポーツの振興】

進む高齢化社会に備え、スポーツアドバイザーを核とした「i・フィット」等のスポーツ教室を開催し、普段運動する機会の少ない人に対して積極的にアプローチするとともに、保健福祉課と連携を図りながら、子どもからシニア層まで個人のライフステージに応じた運動プログラムの提供を目指します。夏には今金小学校を会場にＮＨＫ夏休みラジオ体操会を実施し、町民の健康意識やスポーツに対する意識啓発の機会とします。

【スポーツ環境の充実】

町民体育祭やピリカふれあいマラソン等、各種団体との連携による多様な参加機会を提供してまいります。情報インフラも充実してくる中で、オンライン等工夫を重ねながら、「いきいき今金～育ち輝く地域人」の実現に向けて努力してまいります。

今金町で育つ子どもたちが、夢と志を高くもち、変化の激しい予測困難な時代にあっても、その可能性とチャンスに心と目を向け、ウイズコロナ・アフターコロナの中にあってもたくましく育ち、社会を創造していくことができるよう、学校・家庭・地域・行政がこれまで以上に連携を図りながら、着実に「人づくり」の取組を元気に、温かさをもって丁寧に進めていけるよう努力してまいります。